

地獄絵図を再現

虫生広済寺 鬼来迎

いん が おうほう かんぜんちゅうあく
因果応報・勧善懲悪を説く、全国でも珍しい古典的仏教劇「鬼来迎」。地獄の釜が開くといわれる8月16日、虫生地区広済寺で地元鬼来迎保存会のみなさんにより上演されました。

鎌倉時代から伝承される仏教劇をひと目見ようと、町内外から大勢の観客が訪れ、繰り広げられる地獄絵図に見入っていました。

また、幕間では「鬼婆に抱かれた子どもは健康に育つ」と言い伝えのある「虫封じ」が行われ、赤ちゃんの大きな泣き声が境内に響き渡りました。



勇壮な舞を披露

中台梯子獅子

8月30日、中台地区大宮神社境内で「五穀豊穡」「悪霊払い」「息災延命」などを祈念して、中台梯子獅子が開催されました。

境内の大銀杏に6.5mの梯子を掛け、その上で獅子がお囃子の軽快な音色に合わせて勇壮に舞う「梯子獅子」が披露されました。

頭上で繰り広げられる妙技に、町内外から訪れた大勢の観客から大きな拍手が起こりました。

また、「梯子獅子」披露後には、ヒョットコと獅子による玉じゃれも行われ、境内を盛り上げました。

